

平成25年度 職員提案一覧(自由提案)

No.	提案種別	提案テーマ	要約
1	自由提案	事務改善の評価指標について	職員提案や事務改善, 事務事業の見直しにおける指標の見直しをすることにより行政改革を一層推進させる。
2	自由提案	ミス日本「水の天使」による上下水道のイメージアップについて	ミス日本「水の天使」に依頼し, 市の講習会又は親子水道教室のイベントを開催することにより上下水道利用者の関心を高め, 上下水道のイメージアップを図る。
3	自由提案	技術の継承(再任用を語り部に)	施設整備が急速に進んだ昭和50年代の職員が退職時期を迎えるにあたり, 民間事業者における技術顧問(フェロー)制度と同等の取り組みを行い, 技術系の若手職員が知識などを獲得する制度を新設することにより, 今後の施設整備, 統廃合をさらに効率的, 効果的に行える。
4	自由提案	職員提案の活用(いつやるの今でしょ)	職員提案の有効な視点について, さらに有効活用を検討するため, 自主研究グループ制度を活用し, 社会実験を主として研究することにより質の高い知識財産を獲得できる。
5	自由提案	図書館の改修をESCOで	市立図書館については, 中央図書館が供用開始後30年を経過し, 中期的に大規模改修が見込まれるとともに, 東図書館(供用開始後20年を経過)についても, 近い将来, 老朽化への対応が必要になるため, 中央図書館の大規模改修に合わせてESCO事業を実施する。このことにより, 省エネルギーや経費削減を図ることができる。
6	自由提案	ネーミングライツ制度の積極的導入 (クリテリウム走行コース・コーナーへの命名権の導入)	全世界から来場者が見込め, 広告媒体としての発信力が抜群と考えられる, 「ジャパンカップサイクルロードレース」の「市街地走行コース(クリテリウム)」について, コース又はコーナーについて, 命名権を販売し, イベント運営の財源を獲得する。
8	自由提案	使いやすい市HP内キーワード検索に向けた取り組み	市のHPでキーワード検索を行う際, 事業名で検索しても必要なデータが見つからないことや会議録内容等も検索結果に出るなど画面が煩雑になっており, 求めている情報に行き着かない。そのため, 以下4点の改善を行い, 市民サービス向上を図る。①配布物の事業名と, HP上の記載事業名が同一になるよう確認・修正する。②各事業のページにおいて, 事業説明の後にキーワードになる単語・類似語を列記し, 検索しやすくする。③キーワード検索の範囲を事業名・事業内容等に限定し, 会議録等はキーワード検索の対象外にする。④キーワード検索の範囲を, 恒常的な事業以外は一定期間に限定し, 過去の情報は対象外とする。
9	自由提案	文房具の共有化	各職員が所有している文房具を共有化し, 文房具の数そのものを削減する。また, 課で共通の文房具置き場を設置し, 使用簿で管理することにより, 経費削減等が図れる。
10	自由提案	窓口における待合席の快適さ	窓口サービス向上を図るため, 窓口の待合スペース座席の優先席をクッション材付きのものにしたり, 座席の側にざぶとんを設置する。
11	自由提案	回覧文書の電子化	回覧文書の印刷及び紙使用量削減のため, 回覧文書をメールで該当者へ送信する。 なお, 受診確認機能を使用し, 回覧のチェックをする。

平成25年度 職員提案一覧(自由提案)

No.	提案種別	提案テーマ	要約
12	自由提案	自転車の公用車への積み込み	経費削減, 路上駐車の防止, 事故要因の削減等を図るため, 折りたたみ自転車などの公用車に積み込み可能な自転車を用意する。
13	自由提案	電話対応のサービス向上を目指したナンバーディスプレイ電話の導入について	電話対応における, 電話番号の聞き取りミス等のリスクを減らすことと市民の方に対し, スムーズな対応を図り, 市民サービス向上につなげるため, 市民からの電話問い合わせの多い部署からナンバーディスプレイの電話機を配置する。
14	自由提案	行政評価における外部評価制度の導入	施策の妥当性等について外部の目で客観的な評価を行うため, 外部評価委員会を設置する。
15	自由提案	市内アンダーパス内への「緊急時通報板」の設置について	アンダーパス内で発生した緊急を要する事故等に対し, 迅速に消防車等が出動できるよう, アンダーパス名称や警察・消防等への連絡先などを記載した「緊急時通報板」を設置する。
16	自由提案	市民と触れ合う場の提供について	市民サービスを身近に感じることができるよう, 新規採用職員の研修時に市民課窓口前の案内係を経験する。また, 新規採用職員が配属され, 仕事に慣れる半年程度の期間を置いた後, 市民と接する機会の多い職場見学の機会を設ける。
17	自由提案	バス停に整列のライン表示及び案内表示をする	バスを待つ人が歩道に滞留し, 通行の妨げになっている箇所について, 整然と並んでバス待ちできる環境を作ることにより, 市民サービス向上などが図れる。
18	自由提案	職員提案制度について	職員提案制度と人事評価制度の連携により, 目標管理シートの共通目標について, 業務の改善工夫欄へ職員提案への参加に関する視点を明確に盛り込む, もしくは職員提案分を加点することにより, 職員の提案意欲が向上する。また, 「もっとカエル予算」を「いま, カエル予算」にし, 予算を使ってできる小規模な事務改善提案を募集し, 実績にかかわらず, 費用対効果の高いと評価される提案に対して当該年度に予算措置を行う制度とすることにより, 改善提案を促進し, 積極的な提案が生まれる可能性がある。
19	自由提案	階段扉開閉ゾーンの床ペイント	本庁舎において, 階段扉の開閉範囲を床にペイント等により示し, 危険ゾーンと安全ゾーンを明確にすることにより, 事故を起きにくくする。
20	自由提案	まちづくり団体との協働による公共施設などの維持管理	協力が得られた地域まちづくり団体に, 地域の公園, 道路などの公共施設や本市所有の未利用地の除草など維持管理を依頼し, 報償金を支払うことで, 地域まちづくり団体は活動資金を確保することができる。
21	自由提案	公用車の写真添付について	公用車予約システムに画像を添付し, 予約者に対し分かりやすくする。

平成25年度 職員提案一覧(自由提案)

No.	提案種別	提案テーマ	要約
22	自由提案	ちょっと涼んでいってね ～市有施設等は熱中症対策の クールシェルター～	市民の熱中症予防の一助とするため、市有施設や協力店、まちかどなどに、暑さや日差しから身を守り、クールダウンできる一時休憩施設(クールシェルター)を設置する。
23	自由提案	お客様用呼出しベルの活用	窓口にて各種手続きをする際、職員が書類の手続きに時間を要する場合には、お客様用呼出しベルを携帯させ、書類の手続きが終了したらベルを鳴らして呼出すシステムにすることにより、市民サービス向上につながる。
24	自由提案	ながめてみーや業務版	職員行動予定表の近くに、現在、集中購買で注文中のものや契約準備中のもの、また、来庁予定者等の情報を掲示できるホワイトボードの設置を行うなどスペースを設けることにより、担当者が不在の場合でも物品の納品やお客様の対応が可能となる。
25	自由提案	ミヤリー算数ドリルの発行	地域教材(社会)の内容の一部または全部について、市内で統一を図ることにより作成に係る手間や費用を削減する。 また、基礎的な能力(読解力、計算力など)を確実に身に付けるため、学習指導要領に基づき、本市の豊かな自然や文化、特産物やスポーツ等に関連したデータや写真を活用し、算数ドリルを作成したものを市内の小学校に配布することにより、郷土愛を持たせ、健全な「宮っ子」を育成することができる。
26	自由提案	クレーム対応強化	各課が独自に定めている対応票や交渉記録簿の様式を統一する。また、来庁者や交渉相手の情報を検索できるデータベースの構築することにより、苦情の初期段階で適切な対応ができ、クレームの拡大が防げる。
27	自由提案	庁内環境へのジャズの取り入れ 強化	日4回のチャイムについて、BGMのバリエーションを追加する。また、市民来庁の多い部署では常にBGM(ジャズなど)を流すことにより、市役所が率先して職場環境にジャズを取り入れる活動を行うことで、市民のまちづくりに対する関心やモチベーションを向上させるきっかけにもなりうる。
28	自由提案	市施設のAED一括リース契約	市全体で一括リース契約(消耗品の交換や本体の保守等を含む)を結ぶことにより、事務の効率化、経費削減によるAED未導入施設への新規導入などを図る。
29	自由提案	ごみの分別徹底について	市役所においては、「宇都宮市役所”ストップ・ザ・温暖化”プラン」を推進するため、各課率先実行推進員が配置されているので、地域のリサイクル推進員と同様な役割を担い、各課で排出するごみの適正処理に努める。
30	自由提案	クールビズに地元プロスポーツ チームのユニフォームを活用し よう!	クールビズ期間を活用して、地元プロスポーツチームのユニフォームを着用することにより、認知度の貢献を図る。
31	自由提案	新聞は電子版で読もう!	電子版を活用して新聞を購読するようにすることで、経費削減、事務処理改善、廊下などに置かれていた新聞がなくなることによって、安全な通路の確保、防災(火災防止)に貢献できる。

平成25年度 職員提案一覧(自由提案)

No.	提案種別	提案テーマ	要約
32	自由提案	模範的な職場環境を総選挙で表彰しよう！	きれいで模範的な職場環境である課を職員と来訪者(市民)が投票し、その課を表彰する。表彰することによって、各課の状況・基準がわかり、きれいで模範的な職場環境に近づくことができる。
33	自由提案	ウインタータイムを導入しよう！	12月から2月にウインタータイムを導入。通勤にかかる負担が減り、寒い時間帯に暖房を入れないことによって、エネルギー効率の向上を図り、節電が見込める。
34	自由提案	公用車予約の円滑化について	制限がかかって予約できない車種には何らかのしるしをつけて、予約が不可能であることを示せばもっと効率よく公用車の予約が可能になる。予約画面に、車種の写真が掲示してあれば、自分の乗車したい車をすぐに選んで予約が可能となる。
35	自由提案	曲がり角でのぶつかり防止	天井などにミラーを取り付け、曲がり角の先に人がいるかを確認できるようにして、人との接触や衝突を回避でき、怪我の防止になる。
36	自由提案	宇都宮版 日めくりカレンダーアプリの提供	スマートフォンのアプリをダウンロードしてもらい、情報の発信をすることでより一層のブランド力のアップが期待できる。
37	自由提案	ミヤリーの更なるSNS進出	Facebookアカウント公式登録により、イベント情報を発信され、SNS利用者へミヤリーが広く周知され認知度アップ。
38	自由提案	雨天時の来庁者転倒防止対策	床に滑り止めシート等を敷くことによって、雨天時に転倒する市民を減らすことができる。
39	自由提案	地区市民センター等(市出先機関)へひかり電話(IP電話)の導入	各地区市民センターで使用している固定電話をひかり電話(IP電話)に移行し、「宇都宮市」でグループ化することにより、電話通話料の縮減を図る。
40	自由提案	市職員のパトロールによる安全安心なまちづくりの推進	宇都宮市の安全安心なまちづくりを推進するため、公用車や市職員の自家用車に「緊急連絡先一覧」を記載した用紙を備え、公用車の運転中や、日常生活のなかで異常・緊急事案を発見した際には、関係課へ直ちに通報・報告できるようにする。様々な機会や場面で市職員が目を見守ることによって、異常・緊急事案の早期発見・早期対応につながることを期待できる。
42	自由提案	自己申告による職位転換制度	自己申告による職位転換を設け、主任への降格やスタッフ職への転換ができるようにする。道の選択肢が広がることで職員の心理的負担が減り、多数の優秀な職員が、挑戦しやすくなり、ライフスタイルの変化に応じた職位の選択ができるようになるため、安心して仕事に臨める。

平成25年度 職員提案一覧(自由提案)

No.	提案種別	提案テーマ	要約
43	自由提案	市役所庁舎等での無料公衆無線LANサービスの実施	携帯電話通信キャリア、Wi-Fi端末業者などと連携し、市庁舎等への無料公衆無線LANサービスを導入することで、各キャリアの利用通信制限を受けずに無料でスマートフォンやタブレット等を利用できる環境整備を図り、市民サービスの向上及び市民のIT利用の促進を図る。
44	自由提案	庁内通送便の改善	通送便を1日1便とし、全ての職場で発送、受け取りが可能なシステムを構築する。現金等も含めた重要物品についても、書留制度などを構築して発送を可能とする。
45	自由提案	投票管理者等への礼状の簡素化	全庁掲示板に掲示するなど、より簡素な方法にする。選挙直後の選挙管理委員会事務局職員の健康管理に寄与するものと思われる。
46	自由提案	業務対応事例集の整備	各課の事業遂行に当たっての通常業務(実施時期を含む。)に係る手順及びマニュアル等を整備することにより、初めて担当する職員にとって年度内の実施時期も含めた業務手順について全体的な理解が深まるとともに、組織的にも通常業務に係る進捗確認のチェックを行うことができる。また、上記通常業務以外にも、例えば事件、事務処理ミス及びクレーム時における対応策とそのための原因究明を明らかにしておくことで、事件等発生時における参考となることから、迅速かつ適切に事案に対応することができる。
47	自由提案	昼休み等の混雑時の階段の右側通行の励行	階段中央を線で区切り、進行方向を明示することで、階段の通行方向を右側通行に統一する。職員・市民とも使いやすい施設となり、階段利用者同士の衝突などが避けられ、安全面での効果も期待できる。
48	自由提案	窓口での待ち時間の利用	手続きの待ち時間を利用して住民の方のイライラ解消と市のPR、市のイベント情報や活動に関しての情報をPRする。
49	自由提案	帳票・手引書等一覧の作成	エクセル等の1つのファイルにより、庶務マニュアルやライブラリに掲載している帳票・手引書等について、帳票等名称・掲載場所(庶務マニュアル/ライブラリ等)・所管課・掲載年度等を記載した一覧により、そのファイルを1つ開けば何がどこにあるのかすぐ分かる(もしくは掲載されていないということが分かる)ようにする。
50	自由提案	身だしなみチェックの「徹底」	朝のあいさつ運動に、セルフチェック項目確認を取り入れることにより、職員の意識向上につながり、市民が不快に感じる機会が減る。
51	自由提案	もっと身近に！宇都宮のキャラクター	各種窓口(地域行政機関におけるキッズコーナー等)において、子どもをターゲットとし、忍者食丸くん、ごみげんマン、ミヤリーなど本市キャラクターのぬり絵(集合体)を設置、本市ホームページのトップページから、各キャラクターの紹介ページへとスムーズにとべるようアイコン等を工夫し、単体だけでなく集合体での紹介ページを作成する。幼少期から本市のキャラクターに関わることにより、宇都宮を身近に感じる心を醸成でき、事業目的などの周知もあわせて行うことができる。
52	自由提案	庁内文書ユニバーサルデザインの推進	高齢者等にやさしいユニバーサルデザイン文書の進展を図るため、「庁内文書ユニバーサルデザインの推進」を実施する。市職員が普段の文書づくりから福祉を意識することにより、本市の福祉都市宣言や、やさしさはぐくむ福祉のまちづくり条例の趣旨への職員の意識付けが向上し、福祉のまちづくりを総合的に推進することにつながり、高齢者、障がい者に配慮した文書づくりが進み、多くの市民が見やすい文書づくりが推進できる。

## 平成25年度 職員提案一覧(自由提案)

No.	提案種別	提案テーマ	要約
53	自由提案	公用自転車サドルの基本位置の設定について	サドルの基本位置は最も低い位置とし、サドルの位置を高く調整した者は、使用終了時に元の位置(低い位置)に戻すように、貼り紙等により職員へ周知する。
54	自由提案	ごみげんマンからのお願い～ごみの分別～	市から発送するもの(封筒・封入物)に、ごみげんマンのイラストとともに、ごみの種類や廃棄方法などをわかりやすく表示する。
55	自由提案	スーパークールビズ期間中の軽装化に伴う新たな市民周知方法	スーパークールビズ期間中は、職員全員が職員証の背面にカードを入れ、聞かれたときに見せられるようにする。市民の元へ出向く際においても、市がスーパークールビズを実施していることが周知でき、民間においては実施している企業もあり、取引相手に理解を得るのに効果的であるとの事である。
56	自由提案	放置傘の有効利用	上下水道局1階西側入り口に放置されていた傘を設置し、突然の雨などの際、お客様に貸し出しすることにより、ごみ(廃棄される傘)が減少し、お客様へのサービスが向上する。
57	自由提案	F&B良品への参加	農産物や優れた地域特産品をFB良品に参加させることにより、それらを全国に販売していくことによって、地域産品の積極的な販売促進ができる。
58	自由提案	財務会計システム入力業務のアウトソーシング	定型業務(業務委託・賃貸借業務・基金など)に係るザイムス入力業務を、全庁的にアウトソーシングすることにより、担当者の事務負担が軽減され、超過勤務時間の削減につながる。
59	自由提案	人事異動に伴う作業服と防寒服の統一化	本庁と上下水道局間の異動においても、作業服や防寒服については、統一したものを使用することにより、衣料費の削減、事務量が軽減される。
60	自由提案	個人への外部メールアドレスの配布	各職員に外部メールアドレスを用意し、課のメールアドレスと使い分ける。
61	自由提案	無線LAN環境構築による煩雑なケーブル類の解消	無線LANによるネットワーク環境の構築によりフロア内の煩雑に配置されているLANケーブルが解消され、会議資料の閲覧がタブレット端末(i-padなど)でも可能となり、資料のペーパーレス化が図れる。
62	自由提案	女子トイレのトイレ用擬音装置(音姫)の設置について	女子トイレにトイレ用擬音装置(音姫)の設置を行うことにより、1000人規模(内女性400人)のオフィスであれば、年間約386万円の節水効果が見込まれ、以前よりもトイレの環境が良くなり、市民への細やかなサービス向上にもつながり、水資源の有効活用を感じ取ることができ、宇都宮市民として「もったいない」の意識啓発にもつながると思われる。

平成25年度 職員提案一覧(自由提案)

No.	提案種別	提案テーマ	要約
63	自由提案	MY箸ポイントカードの導入	MY箸を利用したり、割り箸を受け取らない場合、ポイントカードにスタンプが押されることで割引サービスや商品との交換などが出来るようにすることで、割り箸の使用が減り、環境に配慮することが出来る。
64	自由提案	プレミアム商品券の導入	中心市街地で使用できるプレミアム商品券を発行に伴い、消費者の購買意欲の増進、中心市街地の賑わいの向上が図られる。
65	自由提案	机上ファイルの整理	ファイルに付箋等の目印を貼っておき、手に取って使用したファイルの付箋ははがしていく。半年、1年を経過しても付箋の残っているファイルについては中身を確認し、廃棄や倉庫に保管する等の処置を取る。
66	自由提案	各所属アカウントのメール配信サービスへの登録	現在、庁内LANの所属メールボックスに外部メールも届くようになっていることから、各所属でそれぞれ、一度だけ、直接、警察署にメール配信サービスを申し込み、警察署から直接所属のメールアドレスに不審者情報等が届くようになり、生活安心課の全庁掲示板への掲示作業がなくなる。
67	自由提案	16中会議室をお昼限定のランチルームに！	昼休みの時間に限り、16階中会議室をランチルームとして開放することにより、ランチをとりながら職員や臨時職員がコミュニケーションがとれる環境が確保される。
68	自由提案	グループウェアシステム「フォーラム知恵の輪」を利用した、ボランティア募集	「フォーラム知恵の輪」を活用して、ボランティア情報を掲載する。また、参加希望者も書き込みをすることで、ボランティアをやってみたいと思っている人が参加しやすい環境を作ることができる。職場以外の人と新たなネットワークを作る事ができ、業務以外の経験をすることで、仕事上でも多面的な見方をすることができるようになると思われる。
69	自由提案	国民健康保険脱退手続きの勧奨	年金のデータを、同じ保険年金課(国民年金グループ)で所有しているので、毎月とまではいかないまでも、せめて当初課税のデータを作成する前に、データによるマッチングをかけて、該当者に対し「社会保険に加入された場合は、自分で届出が必要です。届出はお済ですか？必要なものは〇〇～」という勧奨通知を発送すれば、当初課税の窓口の混雑も緩和されるかと思う。
70	自由提案	空き封筒(通送袋)の資源化・循環化	空き封筒(通送袋)について、封筒の封の仕方、あて先の紙の貼り方を工夫することにより、空き封筒を有効に資源化・循環化できる。また、空き封筒の管理の仕方について、コピー室などに溜める場所を作ることにより、各課において保管場所を確保する必要がなくなり、スペースの確保ができる。
71	自由提案	住宅課で収入申告書に添付する生活保護受給証明書の廃止	生活保護者のデータを住宅課に、閲覧させることにより、証明書の発行事務の省略及び証明書郵送料の削減が図れる。
72	自由提案	市議会議員出退庁ランプの閲覧について	議会棟エレベータホールにある「議員出退庁ランプ」をライブ映像を流し、職員の自席から閲覧できるようにする。

平成25年度 職員提案一覧(自由提案)

No.	提案種別	提案テーマ	要約
73	自由提案	番号札の活用について	自動発券機の番号札を書類等審査時に一時、預かり、交付の時に、氏名ではなく、番号札の番号でお客様をお呼びすることにより、氏名の読み間違いや周りに氏名を知られないことによるプライバシーの保護などが図れる。
74	自由提案	職場ハラスメント対策による就労環境の健全化	職場ハラスメント相談室を設置し、原則匿名による相談対応、解決のための取り組みを行う。
75	自由提案	残業朝型シフト	伊藤忠商事では、残業削減、夜10時以降の深夜残業を禁止し、夜10時以降に、職場を完全消灯するとともに、効率的に仕事のできる早朝の時間帯の割増率を25%から50%に引き上げる新制度の導入を今年の10月から半年間試験導入することを検討している。残業時間が削減され、家族と過ごす時間の確保や健康増進などが期待される。
76	自由提案	「市政世論調査・意識調査」の調査(分析)区域の追加変更	現在の区分を行政施策の対象となっている連合自治会区域(39)ごとにする。現在世論調査を実施している集計データの集計区域を見直す。まちづくりの進め方について共通の情報を持つことになり、より効果的な政策や支援をすることができ、今後の地域ビジョンの作成の基礎となる有効な資料となる。
77	自由提案	年度始めの避難訓練実施	年度始めのより早い時期に職員向けの避難訓練を実施する。災害が起きた際にどの職員でも避難誘導をすることが出来、被害を最小限にすることが出来る。
78	自由提案	本庁舎敷地内にコーヒーショップ等の誘致	敷地内(本庁舎北西の広場付近)にコーヒーショップまたはファーストフード店等を誘致することにより、市役所へ所用に来た方へのサービス向上と資産の有効活用による財源確保。
79	自由提案	公用車におけるエコドライブの推進(エコドライブシミュレーターの導入)	エコドライブシミュレーター(例 Hondaセーフティナビ:購入費1台あたり300千円)を3台程度導入し、定期的に講習会を実施し、職員に訓練の場を設ける。約20%の燃費の改善が期待できることから、約5,300千円/年のガソリン代が削減されると見込まれ、エコドライブシミュレーターの導入費を差し引いても初年度で4,400千円の経費削減、次年度以降は5,300千円の経費削減が継続して図られる。公用車による二酸化炭素排出量では約82t-CO2削減される。施設、イベント等で使用することで、宇都宮市全体の温室効果ガス排出削減に大きく貢献することができる。